New Products

糖尿病用剤 インスリン デグルデク (商品名トレシーバ)

基礎分泌インスリンの補充用に最適

薬のチェック編集委員会

Web 表 1 基礎分泌インスリン補充用に用いられているインスリン製剤

	ヒトインスリン	インスリンアナログ			
	NPH インスリン *b	インスリン デテミル	インスリン グラルギン	インスリン デグルデク	
商品名	ノボリンN ヒューマリンN	レベミル	ランタス	トレシーバ	
販売会社	ノボノルディクス イーライリリー	ノボノルディクス	サノフィ	ノボノルディクス	
販売開始	1986.01	2007.12	2003.12	2013.03	
作用時間 *a	中 *a	中~長時間	長時間	超長時間	

*a:作用時間の「中」とは、超即効型、即効型と長時間作用型の間であるとの意味。

Web 表 2:新たなランダム化比較試験 5件の特徴

試験/著者[文献]	方法	対象者数(D:G)	主アウトカム	試験期間
DEVOTE [15]	二重遮蔽	7,637 (1:1)	心血管疾患	2年
SWITCH 1 [16]	二重遮蔽	501 (1:1)	低血糖症状	32週×2
SWITCH 2 [17]	二重遮蔽	721 (1:1)	低血糖症状	32週×2
Pan 6 [18]	遮蔽なし	833 (2:1)	HbA1cの変化	26週
BRIGHT [19]	遮蔽なし	929 (1:1)	HbA1cの変化	24週

すべての試験で、デグルデク (D)とグラルギン (G)が比較され、全試験で HbA1c は同等程度の低下を示し、BRIGHT を試験除いて、低血糖症状は デグルデク群で少なかった (Pan らでは少ない傾向、他は統計学的に有意)。

猫女务条

- 15) Marso SP et al (DEVOTE). Efficacy and safety of degludec versus glargine in type 2 diabetes. *N Engl J Med* 2017; **377** (8): 723-732. PMID: 28605603
- 16) Lane W et al. Effect of insulin degludec vs insulin glargine U100 on hypoglycemia in patients with type 1 diabetes. The SWITCH 1 randomized clinical trial. *JAMA* 2017; **318** (1): 33-44. PMID: 28672316
- 17) Wysham C et al. "Effect of insulin degludec vs insulin glargine U100 on hypoglycemia in patients with type 2 diabetes. The SWITCH 2 randomized clinical trial" *JAMA* 2017; **318** (1): 45-56. PMID: 28672317
- 18) Pan C et al. A multinational, randomized, open-label, treat-to-target trial comparing insulin degludec and insulin glargine in insulin-naive patients with type 2 diabetes mellitus. *Drugs R D* 2016; **16** (2): 239-249. PMID: **27098525**
- 19) Rosenstock J et al. More similarities than differences testing insulin glargine 300 units/mL versus insulin degludec 100 units/mL in insulin-naive type 2 diabetes: the randomized head-to-head BRIGHT trial. *Diabetes Care* 2018: 41:2147–2154. PMID: 30104294

^{*}b: NPH とは、Neutral Protamine Hagedorn の略称。インスリンに硫酸プロタミンを添加して結晶化させることで、体内で徐々に溶けだすようにした製剤。ヒュマリンNやノボリン N の N は、NPH ののことを意味している。イソフェン インスリンともいう。

Web 表 3: 重症低血糖の頻度比較(DEVOTE 試験)

重症低血糖	低血糖頻度(/100人·年)		率比(R	p値		
里址心皿相	デグルデク	グラルギン	RR	95%信頼区間	ЫЩ	
重症低血糖	3.7	6.25	0.60	0.48-0.76	<0.001	
夜間重症低血糖	0.65	1.40	0.47	0.31-0.73	<0.001	
空腹時血糖値 (24か月後、mg/dL)	128	136			<0.001	

なお、試験前の HbA1c は両群とも 8.4%で、試験開始後の差は 0.01%に過ぎず、ほとんど同じであった。ただし、空腹時血糖値は、デグルデク群の方が有意に低かった。

Web 表 4: DEVOTE 試験の主な結果(総死亡など)

	デグルデク(3818人)		グラルギン(3819人)		ハザード比(HR)		P値
	人	/100人·年	人	/100人·年	HR	95%信頼区間	PIE
総死亡	202	2.87	221	2.92	0.91	0.76-1.11	0.35
主アウトカム *a	325	4.29	356	4.71	0.91	0.78-1.06	0.21*c
拡大複合アウトカム*b	386	5.10	419	5.54	0.92	0.80-1.05	0.22

*a:主アウトカムは心血管疾患死+心筋梗塞+脳卒中

*b:拡大複合アウトカムは、主アウトカム+入院不安定狭心症

*c: 非劣性試験の p 値は<0.001 (非劣性マージン 1.3 とし、片側検定で)